SMILE ★★★★★ MEISTER

笑顔のマイスター

第27回

いつも元気に笑顔で働くヒミツを教えてもらうべく、笑顔の「匠」の素顔に迫るコーナーです♪
ここでは、日々の業務や職種についても詳しくご紹介いたします。

今号のマイスターは…

救急外来 看護師 坂主（さかぬし） 愛（あい）さん

マイスターに Q&A

Q. この職種を選んだきっかけは？

A. 両親や親戚が医療機関でお世話になることが多く、知識や技術をもったうえで家族を安心させたいという思いから「人の為になる仕事がしたい」という目標ができ、看護師を目指しました。

Q. 心がけていることは何ですか？

A. 分からないことを分からないままにしない。「何故？」「どうして？」と治療や検査一つ一つの過程に疑問を持つように心がけ、アセスメント力の向上に努めています。又、日々ご指導いただく先輩スタッフへ感謝の気持ちを持って業務に取り組んでいます。

Q. 当院を選んだ理由は？

A. 「施薬救療」を看護部理念として掲げ、医療に恵まれない人にも寄り添い、質の高い医療提供を目指している当院で、救急医療を学び看護師として、人として成長したいと思いました。

Q. 今後の目標・意気込みをどうぞ。

A. 3次救急（生命に危険が及ぶ重症患者さんを治療する救急医療機関）に指定されている当院の救急外来で成長できるよう、やりがいを持って前向きに日々の業務に取り組んでいきたいと思います。

Q. 趣味は何ですか？

A. ジムで筋トレをすることが趣味であり、特技です。

Q. 好きな言葉は何ですか？

A. 「前後際断」目の前のことを大切にすることが未来へ繋がり、過去の失敗や経験などが活かされていくのだと思っています。

救急外来とは

当院の救急外来は、栃木県の救命救急センターとして、生命の危機的状況にある重篤な患者さんを診る3次救急の役割を担っています。救急車の他、ドクターヘリによる患者応需、院内では、コードブルー対応や、病棟急変対応（RRS）などに関わっています。また、10月からはドクターカーの運用が開始となります。医師、看護師が直接現場に赴き、救急隊と連携して初療を行うことで、より一層の救命率向上が期待できます。一分一秒を争う事態に対し、医師、看護師共に、救命することに全力で取り組んでいる部署です。

坂主さんのある日のスケジュール

8:30　申し送り
9:00　環境整備
10:00　救急搬入患者対応、診療介助、処置、看護、他メンバーの支援、電話相談対応カンファレンスなど
11:30　昼休憩
13:30　救急搬入患者対応、診療介助、処置、看護、他のメンバーの支援、電話相談対応、外回り業務
17:00　夜勤帯への申し送り
17:30　日勤業務終了

救急外来看護師の役割

救急外来には、様々な疾患や外傷を持つ幅広い年齢層の患者さんが訪れます。「疾患から症状をアセスメント（※1）し、看護へ繋げる」のではなく、「症状から疾患をアセスメントし、看護・治療へ繋げていく」ことが救急外来看護師の役割です。

また、患者さんを短時間でトリアージ（※2）し、緊急度を判断しなければなりません。患者の症状は常に変化し、急激に悪化することもあるため、治療・処置の介助だけでなく、観察・アセスメントをすることが重要となります。

そして、治療対象の患者さんだけでなく、家族への心理的サポートも並行して行っていくことも看護師の大切な役割の一つです。

※1アセスメント…看護に関する患者さんの情報を分析し客観的に解決すべき問題を評価すること。
※2トリアージ…傷病の緊急度や重症度に応じて治療優先度を決めること。

同僚と一緒に

Group photo

救急外来の皆さんと
（下段左から2番目が坂主さん）